

2020年5月7日

豊岡スマートコミュニティ推進機構 設立趣意書

本格的な人口減少社会の到来をはじめ、災害の大規模化・頻発化や地球環境問題の深刻化など、我々を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、これらの課題は日本のみならず世界に共通する課題である。

こうした課題を解決し、生活の心地よさを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティを構築するためには、ICT、IoT、データ活用等の適切な技術を最大限活用し、地域の特性に応じて、モビリティ・地域産業・エネルギー・健康・医療・人材育成など様々な課題を解決し、持続的に発展する地域を作っていくことは極めて重要である。

そこで、多様な地域課題を抱える地方自治体と各種最新技術やノウハウを有する組織が相互に連携・協業することにより、住む人、訪れる人にとっての地域の価値を高めるとともに、地域の持続可能性を向上させていくという世界的なまちづくりのモデルを作りあげる必要があると考えている。

については、人口規模は小さくても、ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち「小さな世界都市—Local & Global City—」の実現を目指す豊岡市と、「Mobility For All」を掲げ、移動課題等の解決を通じてより良い社会の実現を目指して国内外において活動を行っているトヨタ・モビリティ基金が、同じ目標に向かって協働するとともに、内外の企業、団体、個人などの参画・協業を促進すべく、「豊岡スマートコミュニティ推進機構（略称 TSC）」を設立する。